

令和 8 年 7 月吉日発行
CS 事務員 長井 朋子

◇第2回学校運営協議会を開催しました◇



6月30日(火)に第2回学校運営協議会を開催しました。
今回は、新津第二中学校単独での開催です。また、例年の二回目より早い開催となりました。
協議内容は、今後の学校方針や二中での課題についてです。詳しくは以下をご覧ください。

- 7月にアンケート(学校評価シート)をとる予定。
- その結果を夏休み中に見ていき、対策を検討していく。
- パートナシップ事業についての報告。

毎月の挨拶運動、図書ボランティア、1年生五頭への校外学習のボランティア、テスト期間前の放課自習教室などが実施されました。

今後の活動: 体育祭の養護テントのボランティア募集

- 生徒の地域行事への参加促進 → 地域運動会、荻川まつり、荻川文化祭、こども食堂への生徒のボランティア参加

- 部活動地域移行について。

卓球、柔道、女子テニスは指導者を探しているが、現段階では R9年6月で終了の予定。

荻川文化クラブは補助金もありたが、資金ぐりは難しい。

学校より



委員より

- 二中学生の不登校の現状について教えてほしい。

(学校より返答) 校内全体で一割ほどいる。(不登校傾向も含む)

別室登校者もいるが、担任が家庭と連携をとり対応している。また、フリースクール等へ通室している生徒もいる。

- 学習援助についてはどうか。

(学校より返答) 個別対応は難しいが、要望を受けて対応を検討していきたい。

- 10月の荻川地区運動会へ生徒ボランティアを募集したい。例年、運動会へは運動部からの参加が多い気がする。

- コミセンの2階を自習室として開放しているが、最近は利用がないに等しい。高校生の利用が多い。二中学生も大いに活用してほしい。

- 民生児童委員との関りが、小学校とは接点があるが、中学校とはなかなか難しい。3校の総合学習をみてみたい。

→長谷川校長からはオープンスクールで子どもたちの様子をみてもらいたいとの要望。



今年度より委員になられた方もいて、細かいところを確認しながら丁寧に協議されました。

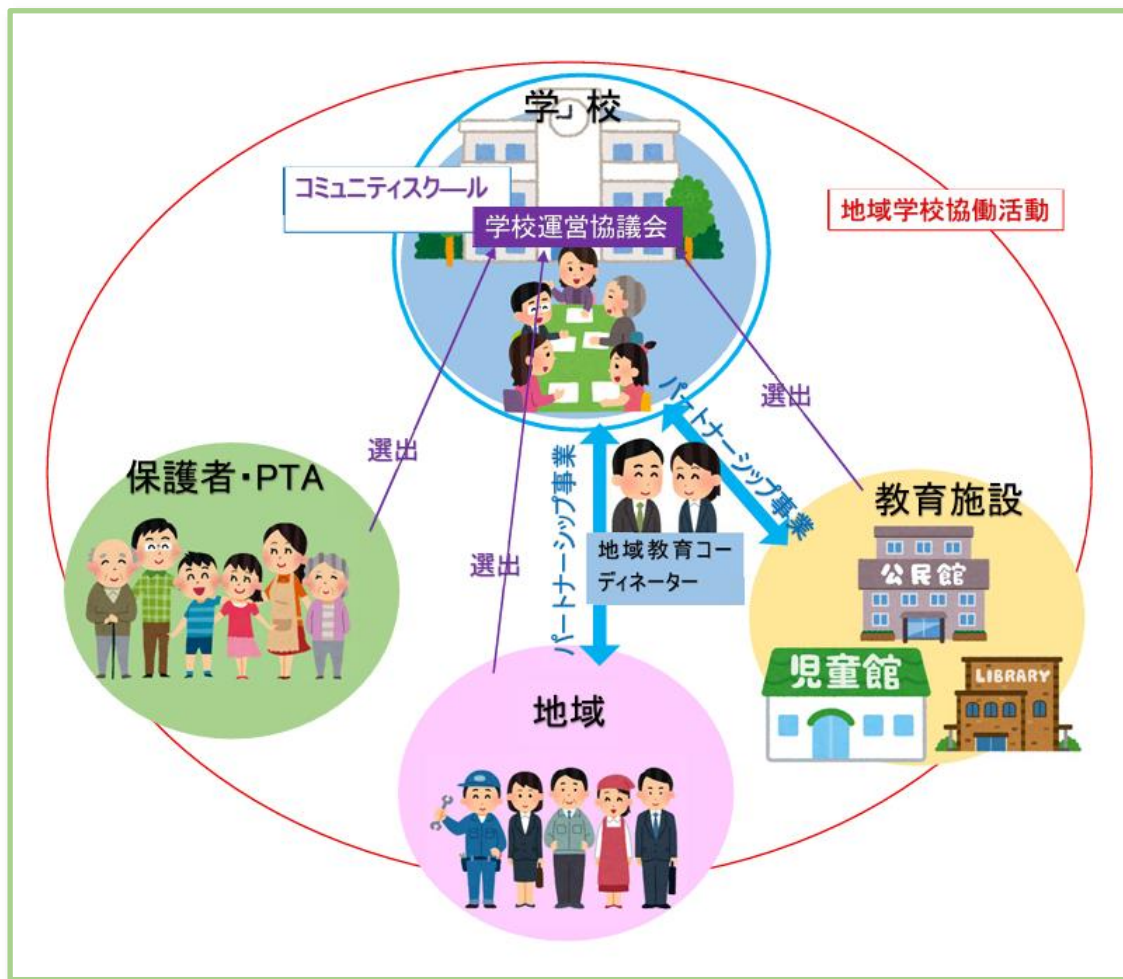
議題にあがった学習支援について、定期テスト時期以外にもみてもらえる体制が整えば、生徒たちにも保護者にとっても心強い支援になるので、ぜひともすすめていきたい課題です。しかしボランティアで支援して下さる人材をどう見つけていくか、とても大きな問題が残りました。実現に向けて皆様のお知恵、お力をお貸しいただければと思います。

CSを深ボリ!

突然ですが、新津第二中学校はコミュニティスクールです。さて、それは一体どういうことでしょうか。

「コミュニティスクール」や「パートナーシップ事業」など、最近学校と地域を取り巻く制度が変化していることをご存じでしょうか。孤高で敷居の高かった存在の「学校」は、地域と手を取り合い、共に支え合う身近な存在に変わろうとしています。

そこで今回は、いろいろな制度・仕組みをまとめ、今学校がどのように変容していこうとしているのか、ご説明できればと思います。まずは、視覚的に理解できるよう(私なりの理解のもと)図案化してみました。



学校運営協議会を設置している学校をコミュニティスクールと呼びます。
 なので、二中はコミュニティスクールです。

学校運営協議会とは、保護者や地域住民などが、学校運営の基本方針の承認や教職員人事への意見など、一定の権限と責任を持って参画し、「地域とともにある学校」を実現するために、教育委員会が学校ごとに設置する合議制の機関のことです。

構成員： 学校職員（校長、教頭、主幹教諭、事務主任）、地域教育コーディネーター、PTA 役員、コミセン役員、民生委員など

基本的な役割： ①校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
 ②学校運営上の課題や教育活動について協議し、意見を述べる。
 ③教職員の任用について教育委員会に意見を述べる（意見を尊重して任用）。

一方、地域学校協働活動は、学校と地域住民が対等なパートナーとして協働し、子どもや学校が抱える課題や目標を共有しながら学習機会や地域づくりを進める活動です。放課後や土曜日を活用した学習支援、地域資源の活用、社会教育との連携などを通じて、学校教育を地域と一体化させることを目指します。

つまり、コミュニティスクールは制度的枠組み、地域学校協働活動は実践的活動として位置づけられ、両者を組み合わせることで学校と地域が一体となった教育環境の構築が可能です。

近年はこれが重視され、**コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体化**が望ましいとされています。

また、新潟市教育委員会は、平成 18 年に策定した教育ビジョンで、「これからの社会をたくましく生き抜く力の育成～学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり～」をテーマとし、「学・社・民の融合による教育」を推進するための中核となる取り組みとして、**地域とパートナーシップ事業**を開始しました。

そこで大切になってくるのが、それぞれをつなぐ**地域教育コーディネーター**です。

学校の願いを受け、学校にたくさんの学校支援ボランティアが入るようにコーディネートすることが、コーディネーターの主な役割です。そのためには、地域の自治会、公民館・図書館などへ直接足を運んだり、事業やコーディネーターの役割について広報活動を行うため、並行して広報紙を作成し、広く地域住民への普及啓発も行っています。

さらに、**地域教育コーディネーター**を軸にして、**地域学校協働活動**や**コミュニティ・スクール**と連動し、さらなる学校と地域の一体化を目指しているところです。

どの取り組みも、やろうとしていることは一緒です。学校と地域のみなさん、保護者のみさんと共に子どもたちを支え、育てていこうという取り組みであるということ。

これらの取り組みについて、

「子供たちのために学校を良くしたい、元気な地域を創りたい。そんな『志』があつまる学校、地域が創られ、そこから、子供たちが自己実現や地域貢献など、志を果たしていける未来こそ、これからの未来の姿である。」

と、文部科学省が諮問委員会で述べていました。（平成27年12月）

これにより、子どもだけでなく、大人も地域も、みんな元気になることを目指しています。

どの角度からでも構いません。身近なところから、お手軽なところから、興味のあるところから関わってみませんか。皆様のご参画をお待ちしています！



お問い合わせ

TEL 0250-22-0741

新津第二中学校 教頭 熊木裕之

